

まえがき

従来、数多くの学習参考書が世に問われてきた。たいていの学習参考書は立派なものであって、それを学習者が何度も繰り返して学習すれば英語をかなりの程度に理解できるようになることは事実である。しかし多くの学習参考書は文法事項の提示と説明に終始している傾向が強い。こういった文法事項の解説を通して、学習者が何度も英文に接することにより、文法構造と意味の関係に気づくようになってくれることはたいてい学習者任せになっていると言わざるを得ない。本当に英語が分かるということがどういうことなのかを念頭に置き編集された学習参考書はほとんど無いのではないか。

本書は単に従来のようなやり方で文法事項を網羅しただけの学習参考書といったたぐいの書物ではない。本書は上でも示したような観点から英語の様々な構造が互いにどのような文法的関係になっているのか、また、その意味的な違いが何なのかなどといった問題を正確に確認事項を通して把握できるように配慮してある。各ユニットの「Step1 必修事項の確認」での文法事項の提示や解説の仕方は従来の書物に見られるようなありふれたものではない。文法事項の把握とは何を意味するのかを理解して頂くために、従来には見られなかった観点を採り入れている。

次に、上記の確認事項と有機的に関連する多種多様な演習を提供している。各ユニットのStep2 Exercisesで提示される問題は従来からのありふれた形式とは異なり、従来には見られなかったような観点からの発想による問題である点で極めてユニークなものである。学習者が本書に真剣に取り組み、本格的な英語実践力を身に付けて下さればと願う次第である。

本書に見いだされる不備は何であれ、著者一人のものである。読者諸賢のご指摘やご叱正をお願いする次第である。最後になったが、本書出版の意図を理解し、本書の出版を快諾して下さった大学教育出版社長・佐藤守氏、ていねいに校正を見て下さった社彩香さんをはじめ編集部の方々に心からの謝意を表しておきたい。

平成 28 年 3 月

晩秋の京都下鴨にて
著者記す

英語実践力獲得への道
—— ストラテジーと演習 ——

目次

まえがき	i
------------	---

基礎編

1 発音と綴り	2
I 辞書を引く習慣形成の重要性	2
II 発音の重要性	2
2 品詞と文構造	9
I 英語の 8 品詞	9
II 同形異品詞の単語	10
III 文中での語順と句・節	10
3 文	18
I 文型による分類	18
II 各文型の具体例	18
III 構造による分類	20
4 句と節	26
I 形容詞句と形容詞節	26
II 名詞句と名詞節	26
III 副詞句と副詞節	27
5 動詞 I (種類と性質)	32
I 自動詞と他動詞	32
II 原形不定詞が後続する例	32
III 動詞の意味の相違と、後続不定詞句の論理主語 (意味上の主語) の相違	33
IV 「句動詞」	33
6 動詞 II (現在時制)	38
I 現在時制と現在進行時制	38
II 現在完了時制と現在完了進行時制	39
7 動詞 III (過去時制)	45
I 過去時制と過去進行時制	45
II 過去完了時制と過去完了進行時制	46

8 動詞IV (未来時制)	51
I 様々な未来表現	51
II 未来進行時制	52
III 未来完了時制と未来完了進行時制	52
9 法	57
I 直説法	57
II 命令法	57
III 仮定法	58
IV 様々な仮定表現	58
10 助動詞	63
I be、do、およびhave	63
II 法助動詞	64

応用編

11 準動詞 I (分詞、分詞構文)	72
I 現在分詞	72
II 過去分詞	74
III 分詞構文の形成	74
IV 分詞構文の分解・分析	75
12 準動詞 II (動名詞、不定詞)	79
I 動名詞	79
II 不定詞	81
III 動詞+不定詞と動名詞	83
13 多様な名詞的表現	89
I “the book on the desk”の意味は？	89
II 文中における名詞句及び名詞節の役割	89
III 同格の名詞句・節	90
IV 名詞化表現	90
V 名詞句の意味的抽象性	92

14 前置詞+文的要素	99
I 前置詞の用法	99
II 前置詞+文的要素	100
15 形容詞+文的要素	106
I 形容詞の用法	106
II 形容詞+文的な語連続	107
III 不定詞句の意味上の主語（論理主語）	107
16 関係詞節	113
I 限定用法の関係代名詞の種類と用法	113
II 関係副詞と前置詞付き関係代名詞	114
III 複合関係詞	114
IV 関係詞の形成と省略	115
V 限定用法（制限用法）と継続用法（非制限用法）	116
17 接続詞と副詞節	121
I 等位接続詞	121
II 従位接続詞	121
III 等位接続と従位接続の構造的相違	123
18 文の意味・論理	127
I 文中における of 前後の名詞（句）の意味関係	127
II あいまい性の問題	127
III 文中の時間関係と統語構造	128
19 多様な表現	134
I 文法的手段の使用による言い換え	134
II 意味的類似性	136
20 文・段落の意味解釈	142
I 文構造と意味解釈	142
II 段落の構造と意味解釈	143